

広島市植物公園 見どころ案内

2019年6月15日
通巻第419号

**ハナショウブ&
アジサイまつり開催中**
6月1日~23日までの土日

ハナショウブ (アヤメ科)

江戸系、伊勢系、肥後系、長井系、野生種などがあり、咲き始めています。江戸時代から連綿と受け継がれてきた菖翁花と呼ばれる、20品種しか残っていないもののうち18品種を保有しています。6月中~下旬まで観賞できます。

ベンガル ボダイジュ (クワ科)

熱帯アジア原産の常緑樹で大きいものは高さ30mにもなります。インドでは聖樹の一つとして大切にされています。現在、非常に小さいですが、スロープデッキより赤いイチジク状果を見ることができます。

ベニノキ (ベニノキ科)

熱帯アメリカ原産の植物で、今は毛が生えた赤い実がなっています。中の種は昔から染色などに使われていて、現在でも食品や化粧品などの着色料に使われています。

シクンシ (シクンシ科)

熱帯アジア原産のつる植物。甘い香りのある花は、咲き始めは白色で、その後ピンク~赤色へと変化します。

アジサイ (アジサイ科)

日本原産の植物で、梅雨の植物=アジサイといってもいいほど馴染みの植物です。約140品種、約1800株を見ることができます。

展示会のご案内
◇展示資料館 1F (6/15~7/24)
冬虫夏草と昆虫展
◇展示温室 (6/19 ~7/15)
夏のカラフルリーフ展
◇屋外展示場 (6/1~6/23)
アジサイ展

ウツボグサ (シソ科)

東アジアに広く分布する薬草。和名は花の形が矢を入れる道具の鞆(うつぼ)に似ていることから。真夏には、花がらが枯れた状態で残るので生薬名は夏枯草(かごそう)。

常緑ヤマボウシ

(ミズキ科)

中国原産の植物で日本のヤマボウシによく似ています。違いは、名前の通り常緑で落葉しません。ヤマボウシよりもさらに多くの花をつけるため、見ごたえがあります。

カシワバアジサイ

(アジサイ科)

北米原産のアジサイの仲間です。ピラミッド型に咲く花とカシワのような葉が特徴です。

クレオメ (フウチョウソウ科)

熱帯アメリカ原産の一年草で夏に美しい花を咲かせます。花は雄しべが突出しているという変わった形をしていて、蝶が風に舞っているような姿から西洋風蝶草(風潮草)の別名があります。

